

CALMA by Ryo Okamoto 'PEOPLE FROM THE EUTOPIA'

BEAMS JAPANで開催 4/2 (金) —25 (日)

株式会社ムサシ（兵庫県加古川市）のアートディレクター岡本亮が、4月2日（金）から25日（日）まで新宿のBEAMS JAPANで個展を開催します。

岡本亮は未来部族を表現するアートブランド「CALMA」を2018年に立ち上げました。移動の手段としてのバイク、物資の保管庫としてのアルミスーツケース、狩猟のための道具としてのヤス、衣服としてのレーシングスーツ、信仰対象として厨子にはいった鉤物など、未来部族の営みを具体的な道具として表現しています。また芸術的・装飾的な行為の記録を様々なメディアと手法を用いて作り上げています。

今回の個展でも、工業製品、立体、平面、インスタレーションなど多様な手法を用いています。



CALMA by Ryo Okamoto 'PEOPLE FROM THE EUTOPIA'

会期：2021年4月2日（金）—4月25日（日）

時間：1100—1900時（会期中無休）

会場：BEAMS JAPAN 5階 Bギャラリー（東京都新宿区新宿3—32—6）

URL：<https://www.beams.co.jp/news/2384/>

※新型コロナウイルスの影響で営業時間が変わる可能性があります。くわしくは会場までお問い合わせください。

岡本 亮

1977年兵庫県加古川市生まれ。1996-2000年ロンドンで芸術を学ぶ。セントラルセントマーチンズ大中退。輸入雑貨店アインショップを経営しながら個展を開く。国内、欧州、アジアでの買い付けで現地の歴史や営みに触れ、オフロードバイクレースやカヌー旅をつうじて多様な生態系に接してきた。近年民族学に興味を持ち制作を続ける。2018年アートブランド「CALMA」を立ち上げた。



CALMAについて

CALMAとは未来の部族のありさまを現代に表現するアートです。

博物館で鑑賞する部族とは、遠い異国の密林の民や数千年前の人類の記録をいいます。ということは、今を生きる我々の道具や記録は、未来には鑑賞対象になっているはずで。

今、この時代をどう生きるか？何を作り何に重きを置き何に問題提起して生きるか？思いをはせて作品を作っています。衣・食・住・移動・信仰対象・音楽。時には生命や医療に及ぶかもしれません。今を生きる部族（われわれ）のあるべき姿であり、未来には部族の生きた資料として博物館展示される。そんな世界観を表現しています。（岡本亮）
CALMA <https://c-a-l-m-a.jp>

お問い合わせ

株式会社ムサシ（広報担当：浅田）

兵庫県加古川市八幡町宗佐1440

<https://www.634634.jp>

✉ asada@musashi-mfg.com

TEL 079-429-0634

FAX 079-429-0333

※メール・FAXは24時間、お電話は9：00～17：30（土日祝を除く平日）に受付しています。